

注目の子ども理科講座！ ゆとろぎから未来のノーベル賞候補を！！

理科好きになる

電気から生じる磁気ので動く模型を作成しながら楽しく学びます。
好きな方（AまたはB）を選んでお申込み下さい。

工作塾

A まつり太鼓手回し演奏機を作ろう

B 電磁ピストン機関車を作る



- 日程 * 9/6・13・20・27 ・10/4(全5回 日曜日)
時間 * 9:00～12:00
参加費 * 1,500円(材料費のみ)
対象 * 小学5年生～中学2年生
定員 * 各工作品目につき5名(合計10名、申込み多数の場合抽選)
場所 * ゆとろぎ 3階 創作室1または2
講師 * 羽村市おもちゃ病院「ねじまわし」の皆さん
申込み * はがき または ゆとろぎ窓口に
「住所・氏名・学年・電話番号・希望工作品目、『理科好きになる工作塾』
受講希望」と明記して、8月23日(日)[必着]までにお申込み下さい。

羽村市生涯学習センターゆとろぎ TEL042-570-0707
〒205-0003 羽村市緑ヶ丘 1-11-5

主催:羽村市教育委員会 企画運営:ゆとろぎ協働事業運営市民の会

“まつり太鼓手回し演奏機を作ろう”

エナメル線を巻いて電磁石を二個作ります。

磁力を利用して「ばち」を持ったたたき手の両手を動かし、太鼓をたたくしくみを作ります。

パンチで丸穴を開けた紙テープを手回しクランクで送ると、穴の部分でスイッチが入り、太鼓をたたきます。

穴を開ける間隔で自由にリズムが作れるので、「氏神様のおはやし」や「羽村太鼓」も思いのままに演奏させることができます。

電磁石の不思議や、目的を実行させる手順（プログラム）、しくみも学びます。

“電磁ピストン機関車を作る”

みんなの人気物“SL”。186年前、世界で初めて鉄道として実用化した機関車を作った人は英国のスチーブンソン父子で、その時の蒸気機関車が“ロケット号”です。

そのロケット号をモデルに、モーターを使わず、本物と同じピストンのしくみで、電磁石の力で走る機関車を作ります。

エナメル線のコイル巻きなど大変ですが完成したら、レールの上を勇ましく突進する走りには魅了されることでしょう。

電磁石の不思議や機械のしくみの他、鉄道の歴史や未来についても学び考えてみましょう

[共通の持ち物]

鉛筆 消しゴム 定規 カッターナイフ はさみ